

上行所伝三大秘法口決

- 一 本門寿量の大戒
 - 虚空不動戒
 - 無作の円戒と名づく
 - 本門寿量の大戒壇と名づく
- 一 本門寿量の本尊
 - 虚空不動定
 - 本門無作の大定
 - 本門無作の事の一念三千
- 一 本門寿量の妙法蓮華経
 - 虚空不動慧
 - 自受用の本分と名づく
 - 無作の円慧

口決に云はく、三大秘法の依文は神力品なり。疏に云はく、於諸法之義の四偈は甚深の事を頌す。

能持是經者	三大秘法の中の本門の妙法蓮華経。
於諸法之義	諸法実相。
名字及言辞	首題の五字は一部の名字なり。
楽説無窮尽	
如風於空中	御書に云はく、種々の大難有りと雖も今に相違無きなり。
一切無障碍	
於如来滅後	末法の五百年なり。
知仏所説教	教主釈尊一代五十年。
因縁及次第	御書に云はく、多く外典漢書等の例を引く。
随義如实説	御書に云はく、天晴れぬれば地皆明らかなり。
日本門に 誓ふ	光本
月迹門に 誓ふ	明迹
能除諸幽冥	御書に云はく、生死の長夜を照らす大灯明。
斯人行世間	五道の中の人道に託す、高祖は人間に御誕生。
能滅衆生闇	御書に云はく、元品の ^{がんぼん} 無明を切る大利剣。
教無量菩薩	此の経を持つ人を菩薩と名づく。
畢竟	必定と云ふ事なり。

住 即身成仏。
 一乗 ^{うんざいかぶ} 運載荷負の義、一乗とは三大秘法の中の本門寿量の本尊云云。一切衆生の生死の愛河を荷負する船筏、^{せんぱつ} 煩惱の^{けんろ} 嶮路を運載する車乘なり。
 是故有智者 爾前迹門の機を愚人と名づけ、本門寿量の機を智者と名づく。
 応受持 持戒清潔にして作法受得の義なり。
 斯經 三大秘法の中の本門戒。
 是人於仏道 持戒の人、決定成仏是なり。
 決定無有疑
 三大秘法口決畢んぬ。

(同じく裏書き)

受持即受戒なり。經に云はく、是を持戒と名づく。釈に云はく、持經即理戒に順ず。

法身	—	中	持經の処即戒壇なり、法界道場云云。
		戒	涅槃には若しは樹、若しは石。法華には若しは田、若しは里。
		身	
報身	—	仮	事の一念三千は迷中の事なり。其の故は妄情の十界即本有無作の覺体と云ふなり、迷情の事の外に覺悟の事無き者なり。之を以て彼を思ふ意に、天台傳教等
		定	弘むる所の事の一念三千は悟中の事理に約す。故に理に属するなるべし。
		意	
応身	—	空	又云はく、因果相對の日は応身は仮、報身は空なり。然りと雖も今は応身の口
		慧	輪の説法と自受用報身と配する時、三千は仮諦なる故に爾 ^{しか} 云ふなり。
		口	